

令和4年5月定例

中標津町教育委員会議事録

令和4年5月定例中標津町教育委員会

1 日 時 令和4年5月30日(月)13時30分～14時00分

2 場 所 中標津町役場3・4号委員会室

3 出席者

教 育 長	山 田 康 司
委 員	義 盛 幸 規
委 員	助 口 明
委 員	南 むつ子
委 員	青 山 幸 子
教育部長	山 宮 克 彦
管理課長	表 健 一
学校教育課長	下 村 浩 次
教育指導監	粥 川 敏 宏
指導室長	佐 藤 雅 澄
社会教育課長	七 條 隆 志
学校給食センター長	加 藤 崇
農業高校事務長	吉 川 裕 二
総務係長	桐 島 秀 一
書 記	森 井 彩 花
書 記	小野寺 蒼 依

4 傍聴者 なし

5 議 題

報告第2号 6月定例会教育行政報告について

【開 会】

○山田教育長

改めまして、こんにちは。

只今から5月の定例会教育委員会を開催いたします。

全員出席ですので、会議は成立いたします。

本日の署名委員は、南委員と青山委員です。よろしくお願いいたします。

本日の議題は、報告第2号6月定例会教育行政報告についてでございます。

早速中身に入りたいと思います。報告第2号お願いします。

【議 事】

◎報告第2号 6月定例会教育行政報告について

○管理課長

はい。それでは報告第2号6月定例会教育行政報告について報告させていただきます。議案3ページ目をお開き下さい。

6月定例会教育行政報告で3点について報告をするものでございます。

4ページ目をお開き下さい。4ページ目でございますが、1点目、令和4年度町立学校学級編成についてでございます。

小学校、中学校、義務教育学校を合わせた児童生徒の合計は、前年度対比90名減の1833名、学級数では普通学級が増減なしの66学級、特別支援学級が1学級増の45学級となっております。教職員の配置数では、前年度対比2名減の182名となっております。

次に、中標津農業高等学校につきましては、昨年度より12名少ない2学科41名が新1年生となり、全校生徒は前年度対比5名減の6学級128名教職員は25名となっております。

次に、5ページになります。5ページの2点目、令和4年3月卒業の中学生高校生の進路状況についてでございます。中学校の卒業生は241名で240名が進学し、そのうち38名が中標津農業高校に、141名が中標津高校に進学をしております。また、高校生の進路状況でございますが、中標津農業高校では、卒業生41名のうち9名が進学し、就職希望者は32名で、30名の就職が決まり、就職決定率は93.8%全卒業生の進路決定率は95.1%となっております。続いて6ページ目になります。中標津高校では卒業生172名のうち128名が進学し、進学率は74.4%就職希望者38名のうち35名の就職が決まり、就職決定率は92.1%全卒業生の進路決定率は94.8%となっております。

次に、中標津支援学校では卒業生38名のうち一般就労者が13名就労移行

支援等福祉的就労に 18 名となっております。

次に 6 ページ目の 3 点目、新型コロナウイルス感染症の対応についてでございます。文部科学省から示されている学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルに基づき、3 つの密の回避、マスクの着用、手洗いなどの基本的な感染症対策の徹底はもちろん、感染リスクの高いとされている活動の自粛や実施方法の見直しなど、各学校のきめ細かな連携の元実施をしております。

7 ページ目でございますが、学校における感染状況ですが、小中学校義務教育学校では小学校の 3 校において、児童生徒の感染が多数確認され、学校閉鎖を実施いたしました。学校閉鎖期間中には学びの観点から、家庭学習のための学習課題を準備するなど対応を行っております。

With コロナ時代において、子供たちの健康と安全のためには正しい知識を学び、正しく恐れて、予防に効果的な日常を送ることが大切になり、正しい知識が身につくと誹謗中傷もなくなると考えております。今後も、児童生徒にとって健康で充実した学校生活が送れるよう引き続き、感染拡大防止の徹底に万全を期するとともに、学校運営上の工夫に努めていくこととした内容となっております。以上 3 点について、6 月定例会教育行政報告とさせていただきます。説明は以上となります。

○教育長

報告第 2 号について説明がありましたが、ご意見ご質問等ございますか。

○義盛委員

1 つよろしいですか。2 月以来当町においても各学校での休校、学級閉鎖続いておりますが、これについて今後方向性が示されると思います。感染者が増加した場合は学校閉鎖、学級閉鎖になると思いますが、これについての授業時間の確保や学びの保障については、昨年度はあらかじめとっていたと思うのですが、今年は前倒しで授業時間を確保している方向性なのでしょうか。各学校の、すでに休みが続いていることに対して授業時間の確保は大体目処が立っているのでしょうか。

○管理課長

ただ今の義盛委員のご質問でございますが、基本的に学校の時数につきましては、学校と協議の上進めているところです。今のところ授業数の確保ができていますが、冬季期間の吹雪、大雪による休校等も考え、その部分は長期休業中の夏休みですとか冬休みに若干短くするなど、そういうこともしながら進めていく予定ではありますが、現在の段階では授業数については問題

ないこととして、進めさせていただいております。

○義盛委員

わかりました。それと、デジタルの関係ですが、家庭学習の時間をすごく気を付けて配慮していらっしゃるようですが、タブレット等を利用してやっているものなののでしょうか。それとも単純にアナログで宿題をとというような形での運用になるのでしょうか。

○管理課長

タブレットにつきましては、基本的にまだ持ち帰りをしている状況ではありませんので、現段階ではプリントですとか、ドリルを使って、持ち帰りの家庭学習ということになっております。ただ今、校長会とも議論を進めているところですが、タブレットの持ち帰りについても、なるべく早い段階でできるように今進めているところでございます。

○義盛委員

はい。ありがとうございます。

○教育長

学校教育、指導室のほうで補足等がありますか。

○教育指導監

はい。他市町と比べて、まだ出遅れているという部分でご指摘もあるかと思うのですが、様々な条件がW i - F i の環境や、今あるタブレットの持ち帰りに伴うアダプタをどうするかという問題が新たに出てきて、いちいち取り外すとなると、かなりの労力が必要になってくることや、W i - F i 環境についても、各家庭によってはばらつきがあるため、それをどうクリアしていくか、セキュリティの問題やマナー、守るべきルールをどう整合させて渡すかというところも検討していかなければいけません。そのあたりを、きちんと道筋をクリアできるように、検討し、今後の校長会議で、各学校で対応できること、町として可能なことを考えたうえで順次進めていきたいと思っております。

○教育長

はい。あと、ご質問等ございませんか。よろしいですか。

(委員から「ありません」の発言あり)

報告 2 号は全員承認いたしました。以上で議事は終了いたします。

これで予定されていた会議日程は終了いたしました。本日は大変お疲れさまでした。